

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)

1. 建物概要

建物名称	(仮称)新潟県信連花園寮	
建設地	中央区	
用途地域	近隣商業地域、準防	
建物用途	工場、集合住宅、	
竣工年	2011年11月 予定	
敷地面積	988.33 m ²	
建築面積	531.58 m ²	
延床面積	2,216.30 m ²	
階数	地上5F+棟屋1F	
構造	RC造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2011年2月10日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{56}{36} = 1.5$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.3		バリアフリー	3.0
			維持管理	4.0
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.2		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.4
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.8		建物の熱負荷抑制	5.0
			自然エネルギー利用	2.6
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.3		節水	4.0
			リサイクル材の使用	5.0
			再利用可能性向上	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	3.0		生物環境の保全・創出	3.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- ・セルフクリーニングタイルの外装材使用や、配管ピットの採用など、維持管理に配慮した計画としています。
- ・外断熱工法の採用により、建物の温熱環境を高め、さらに共用部にはLED照明を取り入れ、省エネルギーに貢献します。
- ・外装タイルや、共用部の内装材に積極的にリサイクル材を活用しています。

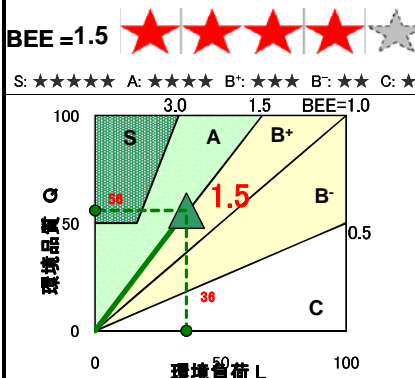
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

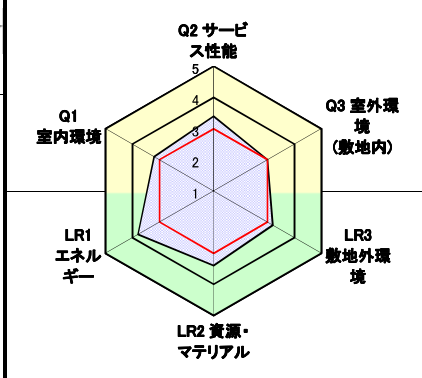
CASBEE[®]新潟 | 評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)

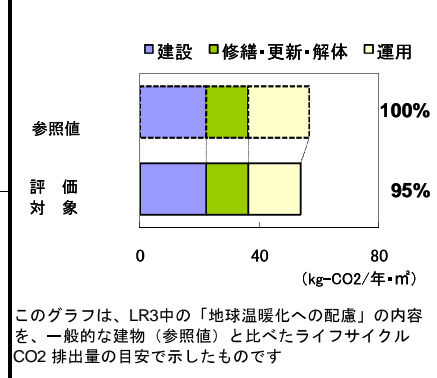
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



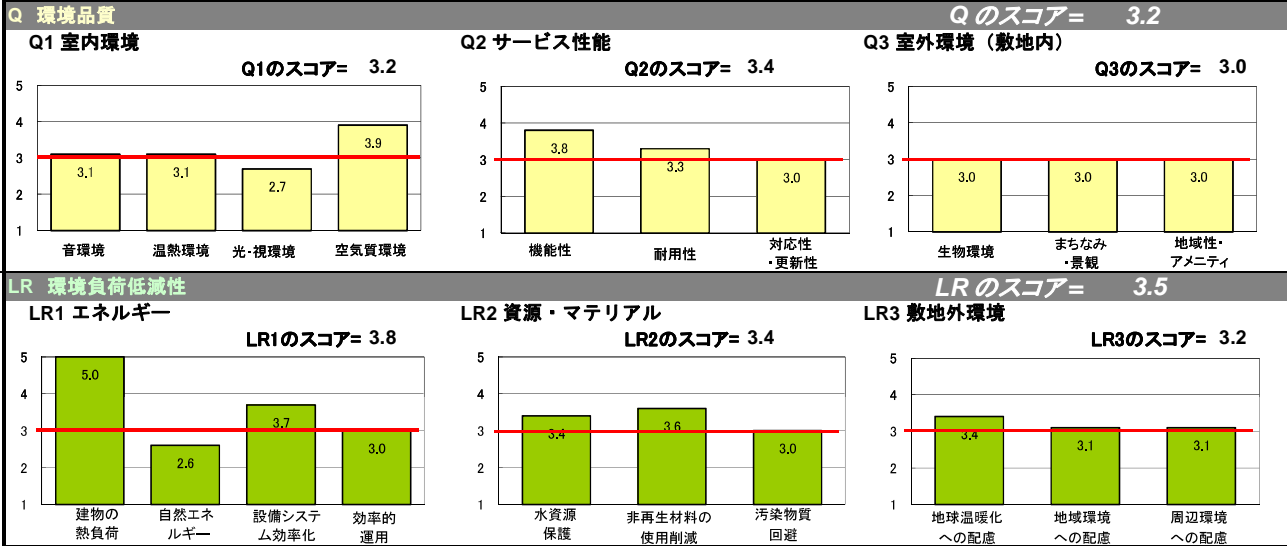
2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合 以前あった寮と同規模の建物であるが、当時の考え方と違い、現在の環境性能を十分満たすよう配慮した設計とする。	その他 特になし。	
Q1 室内環境 共同住宅であり、騒音、遮音環境を考慮する。 居住するため、断熱(外断熱)、空気質(シックハウス対策)環境は特に配慮する。	Q2 サービス性能 耐震性、信頼性は基準法に準ずる。 外装、屋外に使用する機器等、メンテナンス性に配慮する。	Q3 室外環境(敷地内) 景観条例に適合、まちなみには配慮する。 地域性・アメニティは機能とのバランスを考慮して設計する。
LR1 エネルギー 住宅性能表示基準「省エネルギー対策等級」における等級4相当として計画する。 共同住宅のため照明機器等、共用設備のランニングコストに配慮する。	LR2 資源・マテリアル 共同住宅のため、共用設備のエコ建材利用に配慮する。 フロンハロンの回避等配慮。	LR3 敷地外環境 大気汚染、騒音、振動、悪臭はあまり発生せず。 駐車場の確保等、地域のアメニティ配慮を考慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される